

ひろば 大代

No.457

平成29年8月号

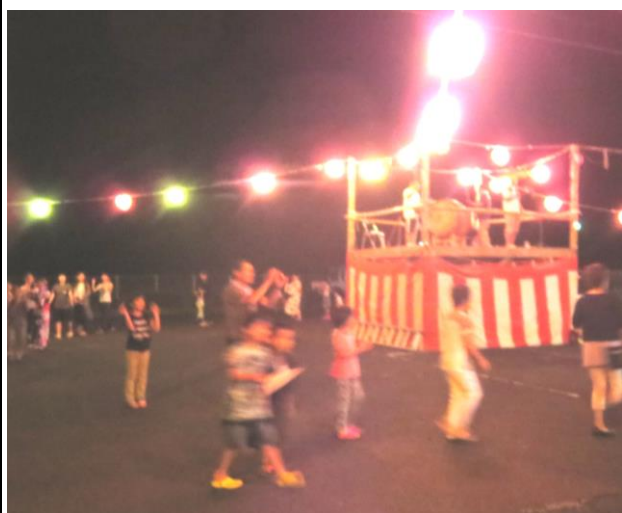
大田市の人口
(H29.7.31 現在)
大田市 35,706人
内大代町 369人
男 163人
女 206人

「都市とふるさとを

結ぶ交流会」開催

8月13日(日) 暑さも去りすっきり
 凌ぎやすくなった旧大代小学校の体育
 館に於いて「第32回都市とふるさとを
 結ぶ交流会」を開催しました。

午前中は地区社協主催の「都市とふる
 さとの子供のピザ作り体験」が「き
 ずな館」で行われ、親子で夏休みの楽
 しいひと時を過ごされた事と思います。
 午後6時30分から始まった交流会
 では、開会式に続いて大江高山神楽社
 中による壮大な舞や、くどき文句が懐
 かしい盆踊り、特産品が当たる楽しい
 抽選会もあり、参加賞も昨年より多く
 用意しました。240名以上の大勢の
 方々の参加がありました。有難うござ
 いました。来年もお待ちしております。



♪さあよー、おいせー、
 よいやさのせー♪



お墓がとりもつ 交流人口

柿田 横手新治郎

大代町の住人票による人口は、大田市の発表による370人前後ですから、定住人口は、学生や施設への入居者等を差し引くといくらになるでしょうか。帰省客の最も多いのは、お盆について、お正月でしょうか。それぞれの自治会等で想像してみると楽しいこともあるのではないのでしょうか。

最も多いお盆には、年数回のお墓参り、家族に元気な顔を見せるため、空き家としていた我が家の風通し・保全・庭木の手入れ、同級生に元気な姿を見せるため、ふるさと交流会に参加する為などで、平生の人口の何倍にもなったことでしょうか。定住人口に対し一般的に「交流人口」ともいわれている、人口の増加対策の一つでもあると思います。

我が家も盆正月には、子、孫、曾孫が顔見せに帰ると、一時的ですが、普



段の二人が三、四倍になることになり
ます。生まれ育った大代を忘れないた
めに、孫、曾孫にとつては初めて見る
大代の町になります。

四日市にある宗通寺の墓地は、22
人・23基のお墓がありますが、8戸が
現在住んでおられるだけで、残りは町
外、市外、県外の方々になっており、
管理運営の主体は地元居住者となりま
す。そんな中で年数回、孫子、兄弟で
お参りされる方があります。

高齢者の方はご存知と思いますが、
植松自治会の市道沿いのほぼ真ん中あ
りに鶏の解体処理、販売をされてい
た滝田栄市さんが住んでおられ、その
長男の勝義さんは、石見交通のバスの
車掌として働いておられました。

当時の運転手は、谷口秋好さんで、
都会に出られてからも自分の人生の師
匠として尊敬をされていたそうです。
勝義さんの遺言は、師匠として尊敬す
る谷口さんの近くで、また25年間、自
分を育ててくれた大家の土地で先祖と
ともに永遠に眠りたいとのことでした。
それを叶え、今度は妻の滝田晴美さ
んも同じ思いであることを、お墓参り

の際に熱心にお話されていました。
滝田晴美さんから投稿された産経新聞
が送られてきましたのでご紹介させて
いただきます。7月27日付産経新聞の
一面に掲載されていました。

産経新聞掲載より

「戻りんさったか!？」



東大阪市 滝田晴美（82歳）

なんとというあたたかい響きの言葉で
あろうか。夫は島根県の奥深い山村に
生まれ、25歳で単身上阪し78年の生涯
をこの地で終えた。

夫は大変故郷を愛し、先祖を大切に
する人で家族ともども毎年のように墓
参りに帰郷していた。そして自分も最
期にはこの村の慣れ親しんだ景色の中
で先祖と一緒に眠るのだと。

このごろ、ほとんどの人は家族の住
む現住所に墓地を新設したり、墓を移
すという風潮の中でこの思いを頑とし
て貫き通した。人生の大半を過ごし、
妻子、孫たちが暮らすこの大阪の地か
ら遺言通り、時代に逆行して10年前に
生まれ故郷の村で先祖と一緒に永遠の

眠りについたら。これには双方にいろい
ろと摩擦があったが、やはり本人のた
つての願いをかなえた結果だった。

夫を媒介として、この村にご縁をい
ただいて59年、私にとつても大切なふ
るさどである。長い年月をへて村の
様子も変わりつつあるが、まだ私ども
と同世代の村人たちもご健在で、夫亡
きあと私が墓参りに訪れた際、他人で
ある私に

「やあ!!戻りんさったかの!？」

と親しみを込めて迎え入れてくださる。
「おいでんさったか」ではなく、戻り
んさったかと私を村人として接してく
ださっているようなこの言葉にいつも
胸を熱くする。

やがて私も遠からん日に愛する夫と
心優しい村の皆さんとともに、この村
の土に還らせていただくことをこのう
えなく幸せに感じている。

そしてもう一度あの「戻りんさった
か」の言葉を聞き、私も正真正銘の村
人となって、未来永劫みらいえいごうこの村にとどま
りたいと願う。



杜協だより

〓 行事結果報告 〓

大代地区社会福祉協議会 高村 清

〔1〕ヒブナすくい(7月23日、旧大代小学校プールに於いて)の実施について

昨年に引き続き、本年も実施しました。今年は、開始時間までになかなか主役である子供たちの姿が見えなく、不安な気持ちでその到着を待っていました。そのような中、一人の少年が到着し、早々にプールに入り、他の子供らの到着前に、ヒブナすくいの感触を味わっていました。やがて、町内の子供たちが揃い、ヒブナすくいに。一方、大きな子供たちは、広いプールへ放流されているヒブナに向かい、ヒブナとの追いかけっこにそれぞれ一喜一憂していました。また、今年も大きなヒブナを一尾放流し、そのすくいに誰しも果敢に挑戦し、それぞれ捕獲しては放流し、そのヒブナも相当弱った状態に見えましたが、子供たちの網を潜り抜け、簡単に捕まっていたまるかとの表情さえ垣間見えた気がしました。

今年も久方ぶりの主役である子供たち(約11名)の元気な声が校舎にこだまし、みんなのすてきな笑顔が確認された一日でした。



〔2〕ピザづくり体験(8月13日、きずな館に於いて)の実施について

昨年は、そば打ち体験を行ったのですが、今年は、趣向を少し変え、子供たちが大好きなピザを自分自身の手で作って、その味を堪能してもらうべく企画しました。

最初に、講師として高山公民館長が、実演をしながら説明。子供たちは熱心に聞き、実際のピザづくりに挑戦していました。子供たちは、生地を円状に伸ばす工程から行ってもらい(なお、生地を作る工程は、時間の関係からスタッフの方で準備)、如何に円状にす



真剣な表情で取り組み

るか四苦八苦。

その後、各種具材のトッピング、これは同じ具材でも一人ひとりがそれぞれ異なり、いろいろな形態のものが出来上がっていました。

次に焼く工程です。ピザガマは、ドラム缶を利用した移動式のもので、下

からは薪を燃やし、上からは炭火であ
たため、常時250度の温度に保たれ
た状態で5分間程度焼くという工法で
行いますが、一度に2枚しか焼けず、
待ちぼうけの子供もいました。

やっとの思いで作ったピザです。そ
の食する味の美味さ、子供らは、それ
ぞれ、店で買って食べるのとは異なる、
別の美味さを感じ取ったようで、満面
の笑顔となりました。

中には、今度、自分の家でも挑戦し
てみたいとの思いを語った子供もいま
した。参加人員は、都会からの帰省中
の親子を含め、子供20名、大人21名の
参加があり、盛況に行うことができ、
きずな館がせまく感じられました。

以上、主催者の各行事の感触は前述
の状況でした。主役の子供たちの感想
は、本紙面の子供の語りに真意を見出
してお読みください。

ヌルヌルだった金魚

植松 小笠原恵真



この前、金魚すくいがありました。
行く時間をまちがえて、一時間まちま

した。早くやりたくてみんなが来るの
をまちました。

小さい方のプールでは、手づかみで
大きい方のプールは大きなあみを使っ
て金魚をつかまえました。

小さい方のプールでは、金魚がツル
ツルでつかまえにくかったけど、すみ
っこでまちかまえていると、よってき
た金魚をサツとつかまえることができ
ました。全部で15匹つかまえました。

大きい方のプールではプールの底が
ヌルヌルしていてすべってつかまえら
れませんでした。すべってびしょびし
よになって着替えがなく、服を干して
上半しんははだかでやりました。みん
な楽しそうでした。3匹しかつかま
えられませんでした。

その後でジュースをもらいました。
つかれた時のあまいジュースはさい高
でした。

つぎにきずな館でピザを作りました。
せれなちゃんや七海ちゃんは、具が少
なめでしたが、僕の作るピザは具がす
ごくたくさんでチーズはけっこう具が
かくれるほどでした。自分の具がた
っぷりのついでおいしかったです。

ぼくは切ったピザを6枚おかわりして
ピザを一枚分食べたことになりました。
おなかいっぱいになってまんぞくしま
した。またらい年も金魚すくいをした
いです。



ふなすくいをしたよ

柿田 岡田七海

7月23日にふなすくいをしました。
大代小学校のプールにいる、ふなを
あみで取ったり手でつかまえたりしま

した。ふなは、す
ごくすばしっこい
ので、なかなかつ
かまえる事ができ
ませんでした。初
めてつかまえた時
は、とつてもうれ
しかったです。

ふなは、ヌルヌ
ルしていても
おもしろかったで
す。ふなの中で、
とつても大きいふ



ながいると聞いて、せれなさんといっ
しよに大きなふなをとる事にしました。
つかまえようとした時、すぐににげて
しまうので、なかなかつかまえる事が
できませんでした。つかまえる事がで
きた時は、ものすごくうれしかったです。
ふなは、一ぴきずつ色が黒や赤や白
だったりいろんなふながいました。何
でいろんな色のふながいるんだろうと
思いました。聞いてみればよかったです。
≪ヒブナをフナだと思っていたのです
ね。フナは黒っぽいし、いろんな色が
あるのがヒブナです。≫

〓お知らせ〓 ○大代町敬老会の案内

大代地区社会福祉協議会

大代町では9月10日(日)に旧大代
小学校体育館において、午前10時から
75歳以上(130名)の方々を対象に
敬老会を開催致します。

今回は大代田植囃子保存会と歌手
の山下時子さんや大江高山神楽社中の
超豪華メンバーが出演予定です。

対象者の方々、一般の方、役員の皆
様のご支援・ご協力をお願いいたしま
すとともに、お誘いあわせ是非ご参加
ください。お待ちしております。

余興プログラム 10:20

* 田植ばやし

大代田植囃子保存会

* 歌謡ショー

歌手 山下時子さん

* 神楽大会

大江高山神楽社中



◎お礼

大代高山会より

都市交流会においてご芳志を頂きま
した。厚くお礼申し上げます。

田中憲経様 市原幸文様
今田 潔様 坂井 晋様
松野 広様 松本健一様
宇井好恵様

〓俳句〓

あすなる句会



三人の 兄は帰へらず 敗戦忌 椿 花田時子
台風の それし安堵や 一人住む 下市 今田文子
終戦日 父の復員 偲びけり 川上 岩田律枝
夏の雷 地響き立てて 通り過ぎ 椿 柿丸寿枝
友よりの 便り懐かし 花木権 蘇る
墓掃除 思ひ出ばかり 蘇る 椿 柿丸寿枝
遠き日の 異国に在りし 敗戦日 朝顔や 虚空を掴む 蔓の先

+++++

◆抜粋シリーズ◆

*平成元年8月の「ひろば大代」

第121号より



健康ですこやかに長生きを

Ⅱお年よりの食事Ⅱ

(大田保健所 横田)

心身ともにすこやかに生活する為には普段からの食事が大切です。

人は年を取ると共に身体の機能が全体的に低下します。然し個人的には実際の年齢との差が大きい人もいます。

同じ年齢のお年寄りでも身体的精神的に「若々しい人」と「老け込んだ人」とがおられます。

人は年を取ると…:

「目がかすむ。味覚・臭覚が低下する。血管がもろく硬くなる。便秘や下痢を起こしやす。骨がもろくなる。動きがぶくなる。がんこ。物忘れしやすくなる。耳が聞こえにくくなる。唾液の分泌が少なくなる。むせたり、飲み込み難くなる。歯が弱くなる。消化吸収力が低下する。貧血になりやす

い。出血しやすくなる…:等」

食事はお年寄りにとって、大きな楽しみの一つなので、細かい心遣いが必要です。

また何らかの病気を持っている方が多いので、それらの状況に応じて食事の内容や調理法を工夫しましょう。

① 鮮度のよい材料を選んで

② 食べよい形に調理して

③ 塩分を少ない調理方法の工夫を

④ 少量の食事で回数を多く(4回)

⑤ 季節感のあるものや行事食を取り入れて

⑥ 食習慣を十分に理解する。

⑦ 出来るだけ一人で食べる事のない様に思いやりのある食事作りをしてください。

+++++

*

*

▼10日(日) 大代町敬老会

午前10時から

▼19日(火) さくららんぼ教室

▼20日(水) 社協会議

9月行事予定



▼21日(木) ～30日(土) 秋の交通安全運動
▼23日(土) 連合自治会

Ⅱ編集後記Ⅱ

例年にならない猛暑の日が続いて、大代の路上の温度計も38℃に到達しました。この日の室内温度も44℃以上!! いつもなら涼しい風があつて、クーラーなしで生活している方々も、さすがに考えなければ…。といわれるなか、あれ程の暑さも、ノロノロ台風5号とともに去って次第に朝夕涼しく、セミの声も秋の虫の声に変わってきました。栗や柿も小さな実をたわわにつけ、また稲穂もしっかりと頭をたれて収穫を待っています。

夏休みも終りに近づき、子供たちも残りの宿題を頑張っています。



八反田の気温計、驚きの38℃表示!!